



富士山が世界文
よう。

化遺産に決まっ
て、日本中が沸き
立っています。

「富士山に対して日本人は独
特の情緒を持つ」と指摘され
たのは、富士山レーダー設置
と山頂の観測に苦勞された立
平良三・元気象庁長官です
が、この情緒は今も健在であ
ると感じます。世界遺産決定
をわがことのように喜ぶ人が
多いのは富士山の特徴で、他
の山ではこうはいかないでし



その片隅にある測候所で、

ほそぼそと研究活動が続けら
れていることはあまり知られ
ていないようです。富士山測
候所(正式名「富士山特別地
域気象観測所」)は最高峰・
剣ヶ峯、三七七六坪の岩にし
がみつくように立っています

富士山測候所

す。二〇〇四年まで七十二
年、冬季は遭難の危険を冒し
て気象庁職員が三週間交代で
通勤していましたが、人工衛
星の発達で富士山レーダーが
天気予報に不要になり、無人
化されました。山頂の風景の
一部にもなっている堅牢な測
候所は天気予報以外には役に

立たないでしょうか？

一九九〇年から酸性雨や汚
染ガスなどの観測を行って
いた研究者たちでNPOを設立
して、〇七年から庁舎の一部
を気象庁から借用、夏の二カ
月、大陸から上空を飛んでく
る微小粒子状物質「PM2.5」
の観測など、ここでしか
できない研究・教育に開放し
ています。公的援助がなく資
金獲得の苦勞もあります。

今年七月十六日開所の予
定ですが、私たち裏方には八
月末の終了まで緊張の日々が
待っています。これから研究
内容や山頂から眺めた自然な
どを紹介していきます。
(土器屋 由紀子「富士山測
候所を活用する会理事」)